

The Northern eXpress to 212

NeXT-212 press

42

オンラインプレス「NEXT212」毎週月曜日発行
PM実践講座事務局 / 地域メディア研究所
Fax (011)761-8483 Tel (011)761-6039

vol.42 25.Jun,2001

- 特集・市町村合併を考える -12 住民意識調査の活用法
- データで読む財政危機 -11 財政評価（下）道北・道東編
- 212ふるさと情報 脱・お知らせ広報
- 最前線リポート 住民参加で水環境を保全
- 自治体北南 墓地に使用期限、スラム化対策で条例
- BOOK 「超・民営化」を考える

ホントは「食えない」話？！

▼...英国・エジンバラで聞いた小咄。
「ネッシーなんてやっぱり作り話さ」。ネス湖を泳いで渡りきるとイングランド人は胸を張った。これに対してスコットランド人は「ネッシーも、よほどイングランド野郎は食えないと見たか」と言い返した。かくも両者は仲が悪い（とされている）。

▼...スコットランドにとってイングランドからの独立をも意味する議会設置の可否をめぐる住民投票が行われたのが、ブレア政権下の97年。税源移譲案と並び「イエス・イエス運動」が展開され、74.3%の賛成で約3世紀ぶりの議会設置が決まった。ブレア率いる労働党は、7日の総選挙でも勝利し、「小さな政府」を目指す改革路線は追認された。

▼...「独立」をめぐっては、79年に国民投票が行われ、ボーダーとされた有権者の40%に届かず実現しなかった。この時は、国会論議に收拾がつかなくなり、住民の判断に下駄を預けた感が強かった。北海油田のほかスコッチと観光程度しかないスコットランドの、中央依存指向も少なからず影響した。

▼...さて、日本。地方分権の声は高まっているが、明確な方針とリーダーシップは発揮されるのか？国会、地方議会の論議は尽くされるのか？住民は的確な判断を下す理解と冷静さを保っているか？そして、北海道。地域の運命を自ら決める覚悟と知恵を持っているのか？それとも分権なんてホントは「食えない話」？（梶）

市町村合併を考える-12

住民意識調査の活用法

判断材料の積極提供が大前提

合併論議の推進パターンは、大きく「首長主導型」「住民決起型」「議員連携型」「広域行政発展型」に分類されます(第40号参照)。住民決起型よりも首長主導型が主流になるに連れて、比較的早い段階でアンケート調査などにより住民の意向を汲み取ろうとする傾向が強まっています。

■問題意識のレベルアップを
住民意思を最大限に尊重するという意味で、こうしたアンケートや意識調査は有効な手段といえます。しかし、住民の意向を的確に反映させるためには、合併問題を考える上で必要な情報が、住民に対して十分提供されていることが重要です。

特例法のタイムリミットを意識する余り、単に是非を問いつけてるだけでは有効とはい

えません。特に、複数市町村にまたがる問題であるだけに、関係住民の理解や認識のレベルを同一の水準に引き上げるための工夫が求められます。

市町村合併はいわば「お見合い」であり、お互いのプロフィールがきちんと明らかにされていないとということなのです。

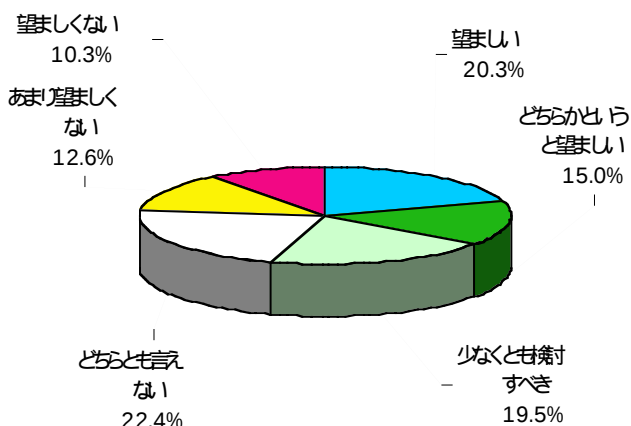
■関係自治体の情報を共有化
下のグラフは、計香川県小豆郡の土庄、池田、内海の3町(人口合計約3万6500人)による合併協議会が今年2月、有権者5千人を対象に行った「合併に関する住民意識調査」の結果で



小豆郡3町の合併協だより

す。設問は合併の是非だけでなく、現在の行政サービスに対する満足度や小豆島の将来像など多岐にわたっています。回答者の40%近くが具体的な意見を添えたことから、合併に対する住民意識が比較的高いレベルにあることをうかがわせます。

この背景には、島という立地や合併の話題が早い時期から取り上げられていたこともありますが、2000年4月の住民発議に前後して、行政や青年会議所などの住民団体が積極的に合併を「考える材料」を提示したことが大きいようです。特に、同8月に3議会が協議会設置を決めてからは、住民懇談会や広報誌、協議会だよりなどを通じて3町に関する情報が提供されています。



小豆郡3町の合併に対する住民の態度

調査結果に見る「期待と不安」

香川県小豆郡 3 町の場合

	合併推進の理由	
1	議員・職員の削減、経費節減のため	19.5
2	行政効率の向上・行革推進のため	17.3
3	国や県の支援があるうちに合併すべき	17.1
4	地域イメージの向上、一体感の醸成のため	11.8
5	新たな行政ニーズに対応するため	10.3

	合併に対する不安	
1	中心部と周辺部の格差が拡大する	20.5
2	行き届いたサービスが受けられない	16.2
3	役場が遠くなったり不便になる	13.5
4	旧 3 町間で対立が生じる	10.3
5	交付金の減少などにより経済が苦しくなる	9.9

住民意識調査の活用法

岡山県赤坂町の場合

	合併に対する期待	
1	福祉、医療、教育などのサービス充実	16.1
2	議員や職員の削減、経費節減	14.4
3	税金、公共料金の負担減少	14.0
4	スポーツ、文化施設の利用範囲が広がる	13.5
5	道路や公共施設の一体的な整備	13.2

	合併に対する不安	
1	役場が遠くなり不便になる	23.7
2	きめ細かいサービスが受けられなくなる	22.0
3	サービス低下、税負担が重くなる	19.1
4	周辺部の過疎化が進行する	12.8
5	歴史や文化など地域の個性が失われる	10.0

(単位 = %)

YES・NO だけでなく課題抽出を

岡山県赤坂町は 2000 年 11 月、全有権者 4278 人を対象に合併問題についてのアンケート調査を行いました。79.4%という高い有効回答率でした。合併は「必要」が 11.1%、「検討の必要はある」が 34.6%で、「必要ない」(28.3%)、「分からない」(26.0%)を大きく上回りました。

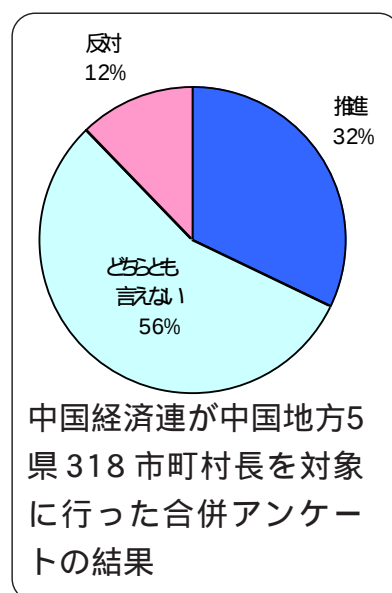
■「期待」「不安」の内容解明
県の推進要綱では近隣 4 町との合併パターンが示されていますが、特に合併の話が具体化した中での調査ではありませんでした。しかし、回答率に表れた住民の関心の高さに基づき、町は議会と一体となった合併の検討作業に入ることになりました。

ここでは、アンケート調査の結果が、検討課題のあぶり出しに活用されています。上の一覧表は香川県小豆郡 3 町(左)と赤坂町(右)のそれぞれの調査

で住民が挙げた「期待と不安」の上位 5 項目です。いずれの項目もほぼ共通した内容となっていますが、赤坂町では、小豆郡に比べてまだ漠然とした感のある「不安と期待」の具体的な中味を明らかにしながら、合併の方向を探ることにしています。

同じ意識調査でも、赤坂町は「課題抽出型」、小豆郡は「問題解決型」の調査といえます。

■「温度差」を読み取る
住民意識調査で注意が必要なのは、大きな住民意思の流れと同時に、その中に生じている「小さな瀬や淵」にも目を向けることです。たとえば小豆郡 3 町の調査では、「3 町間の対立」の懸念について池田町は 7.7%なのに対し土庄町は 12.7%と「温度差」が生じています。静岡県の清水市議会のある会派が行った調査では、60 歳以上の男性の 77%が静岡市との合



併に「賛成」なのに対し、20 代の女性では 33%の賛成しかありませんでした。

小さな数字の差異に潜んでいる問題や課題を丹念に読み取ることも、合併問題についての合意を形成する上では、非常に重要なことです。合併論議の結論を急ぐ余り、「イエス・ノー」の結果だけに目を奪われることは避けなければなりません。

財政評価～99年度版・下
【上川・留萌・宗谷】

データで読む財政危機

99年度道内市町村決算から NO.11

99年度	借金体質	弾力性	財政力	財政基盤	健全度	総合
------	------	-----	-----	------	-----	----

■上川管内

鷹栖町	57.9	B	56.3	C	50.4	D	47.0	E	52.8	C	52.9	C
東神楽町	52.2	D+	56.8	C	51.7	D+	60.7	B	48.6	D-	54.0	C
当麻町	56.1	C	52.2	D+	48.8	D-	47.4	E	48.8	D-	50.7	D
比布町	57.0	C	60.6	B	44.6	E	45.1	E	48.1	D-	51.1	D+
愛別町	54.3	C	44.7	E	47.6	D-	45.4	E	50.0	D	48.4	D-

上川町	53.6	C	46.7	E	51.4	D+	51.3	D+	50.4	D	50.7	D
東川町	61.7	B	50.4	D	48.6	D-	51.2	D+	48.5	D-	52.1	D+
美瑛町	44.3	E	51.8	D+	47.1	E	49.4	D	48.1	D-	48.1	D-
上富良野町	48.9	D-	50.5	D	49.8	D	50.7	D	49.6	D	49.9	D
中富良野町	53.5	C	56.3	C	52.7	C	44.3	E	55.5	C	52.5	D+

南富良野町	46.7	E	45.9	E	56.7	C	45.0	E	52.7	C	49.4	D
占冠村	49.9	D	39.9	F	64.3	A	51.6	D+	50.3	D	51.2	D+
和寒町	53.3	C	56.9	C	47.1	E	42.8	E	54.3	C	50.9	D
剣淵町	47.1	E	47.6	D-	46.9	E	43.7	E	47.8	D-	46.6	E
朝日町	54.4	C	47.6	D-	43.8	E	46.2	E	51.2	D+	48.6	D-

風連町	51.6	D+	47.2	E	45.3	E	44.2	E	46.0	E	46.9	E
下川町	55.7	C	53.1	C	49.1	D	45.4	E	54.4	C	51.6	D+
美深町	52.8	C	49.1	D	45.5	E	48.0	D-	50.9	D	49.3	D
音威子府村	52.9	C	48.0	D-	45.4	E	48.1	D-	51.3	D+	49.2	D
中川町	54.2	C	48.7	D-	43.2	E	46.8	E	50.4	D	48.7	D-

■留萌管内

増毛町	32.5	G	44.3	E	43.8	E	45.7	E	46.3	E	42.5	E
小平町	37.9	F	51.7	D+	45.6	E	43.7	E	54.6	C	46.7	E
苫前町	44.5	E	61.0	B	45.0	E	44.6	E	54.6	C	49.9	D
羽幌町	43.5	E	44.4	E	48.4	D-	47.1	E	52.5	D+	47.2	E
初山別村	53.2	C	51.0	D	45.8	E	43.1	E	55.9	C	49.8	D

遠別町	48.2	D-	44.5	E	47.8	D-	45.3	E	47.0	E	46.6	E
天塩町	60.3	B	53.3	C	44.9	E	48.8	D-	55.6	C	52.6	C
幌延町	54.2	C	49.1	D	45.1	E	50.4	D	52.7	C	50.3	D

■宗谷管内

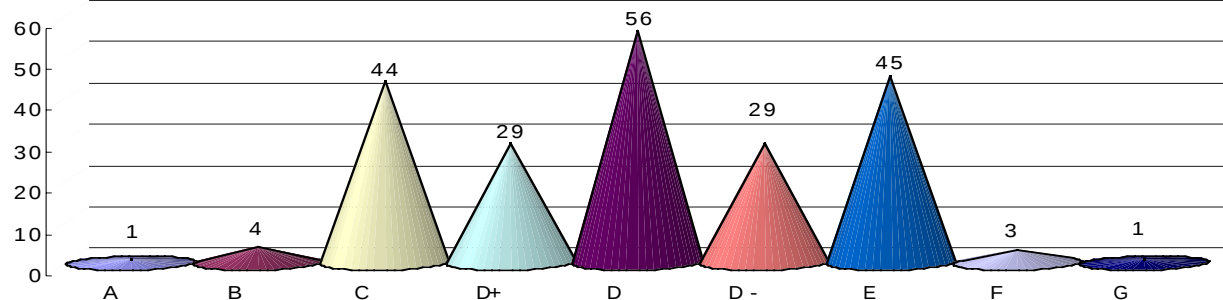
猿払村	55.9	C	53.1	C	51.1	D+	50.6	D	49.8	D	52.1	D+
浜頓別町	46.8	E	48.8	D-	45.7	E	57.2	C	49.2	D	49.6	D

中頓別町	45.6	E	43.0	E	44.0	E	44.6	E	46.1	E	44.7	E
枝幸町	50.8	D	51.4	D+	48.5	D-	53.8	C	49.3	D	50.8	D
歌登町	46.4	E	46.1	E	45.9	E	44.2	E	46.5	E	45.8	E
豊富町	53.3	C	57.6	B	48.6	D-	53.1	C	45.3	E	51.6	D+
礼文町	37.6	F	49.8	D	46.0	E	44.0	E	50.0	D	45.5	E

利尻町	39.5	F	42.1	F	45.2	E	42.8	E	49.4	D	43.8	E
利尻富士町	34.4	G	46.8	E	46.5	E	44.2	E	53.3	C	45.0	E

道内212市町村の財政評価～99年度版【網走・胆振】

99年度	借金体質	弾力性	財政力	財政基盤	健全度	総合
■ 網走管内						
東藻琴村	52.4 D+	50.3 D	46.3 E	45.5 E	51.3 D+	49.2 D
女満別町	51.7 D+	50.6 D	49.5 D	49.2 D	37.9 F	47.8 D-
美幌町	50.4 D	52.3 D+	52.8 C	56.1 C	48.0 D-	51.9 D+
津別町	59.9 B	58.9 B	48.1 D-	49.0 D	53.1 C	53.8 C
斜里町	53.1 C	52.6 C	53.3 C	57.7 B	52.4 D+	53.8 C
清里町	48.6 D-	62.0 B	45.0 E	46.7 E	56.6 C	51.8 D+
■ 胆振管内						
小清水町	51.6 D+	47.2 E	48.9 D-	48.9 D-	52.8 C	49.9 D
端野町	51.5 D+	44.8 E	51.6 D+	63.2 A	49.7 D	52.2 D+
訓子府町	52.9 C	54.2 C	48.7 D-	49.7 D	55.1 C	52.1 D+
置戸町	54.0 C	49.1 D	45.5 E	45.0 E	50.3 D	48.8 D-
留辺蘂町	46.0 E	41.9 F	47.7 D-	41.1 F	45.5 E	44.4 E
佐呂間町	49.8 D	47.3 E	47.1 E	54.6 C	50.7 D	49.9 D
常呂町	47.3 E	49.4 D	49.9 D	47.7 D-	51.1 D+	49.1 D
生田原町	35.3 G	42.6 E	41.2 F	46.6 E	35.2 G	40.2 F
遠軽町	50.6 D	51.7 D+	52.4 D+	52.3 D+	47.5 E	50.9 D
丸瀬布町	51.8 D+	46.1 E	45.2 E	47.7 D-	56.2 C	49.4 D
白滝村	47.5 E	53.9 C	43.6 E	51.1 D+	58.1 B	50.8 D
上湧別町	59.1 B	54.3 C	46.4 E	46.2 E	53.7 C	51.9 D+
湧別町	58.1 B	57.2 C	49.9 D	49.1 D	53.4 C	53.5 C
滝上町	46.8 E	43.1 E	45.9 E	42.8 E	53.9 C	46.5 E
興部町	42.2 F	54.3 C	45.2 E	57.7 B	49.9 D	49.9 D
西興部村	42.1 F	58.5 B	43.3 E	39.5 F	55.4 C	47.7 D-
雄武町	46.0 E	49.2 D	48.5 D-	56.1 C	51.3 D+	50.2 D
■ 網走管内						
豊浦町	61.0 B	58.6 B	46.2 E	48.6 D-	50.0 D	52.9 C
虻田町	50.5 D	44.6 E	52.2 D+	51.7 D+	40.7 F	47.9 D-
洞爺村	59.0 B	47.5 E	55.7 C	37.1 G	46.8 E	49.2 D
大滝村	57.5 B	51.3 D+	49.4 D	46.0 E	50.2 D	50.9 D
壮瞥町	55.8 C	51.2 D+	47.8 D-	48.8 D-	51.4 D+	51.0 D+
■ 胆振管内						
白老町	45.6 E	41.6 F	55.3 C	60.9 B	45.8 E	49.8 D
早来町	51.2 D+	44.0 E	50.8 D	47.8 D-	39.2 F	46.6 E
追分町	49.5 D	49.8 D	44.9 E	46.7 E	52.0 D+	48.6 D-
厚真町	54.3 C	56.8 C	76.1 A	45.6 E	59.0 B	58.3 B
鶴川町	42.8 E	38.1 F	48.7 D-	48.0 D-	51.5 D+	45.8 E
穂別町	43.2 E	45.1 E	44.3 E	45.0 E	49.1 D	45.3 E



総合評価の自治体数分布

道内 212 市町村の財政評価～ 99 年度版【日高・十勝・釧路・根室】

99 年 度	借金体質	弾 力 性	財 政 力	財政基盤	健全度	総 合
--------	------	-------	-------	------	-----	-----

■ 日高管内

日 高 町	52.9	C	49.8	D	65.5	A	51.3	D+	49.9	D	53.9	C
平 取 町	47.9	D-	56.5	C	45.6	E	45.9	E	57.4	C	50.7	D
門 別 町	48.2	D-	49.1	D	48.1	D-	50.7	D	46.7	E	48.5	D-
新冠 町	46.1	E	52.5	C	50.6	D	46.8	E	53.2	C	49.9	D
静 内 町	48.0	D-	54.6	C	54.5	C	55.1	C	50.4	D	52.5	C

三 石 町	51.1	D+	46.9	E	50.0	D	43.7	E	46.8	E	47.7	D-
浦 河 町	38.0	F	46.4	E	53.2	C	51.6	D+	47.1	E	47.3	E
様 似 町	35.6	G	48.3	D-	48.1	D-	48.3	D-	47.0	E	45.4	E
え り も 町	48.9	D-	47.3	E	47.6	D-	46.1	E	49.2	D	47.8	D-

■ 十勝管内

音 更 町	47.6	D-	56.7	C	53.4	C	57.1	C	50.0	D	53.0	C
士 幌 町	57.8	B	56.2	C	45.3	E	53.8	C	58.2	B	54.3	C
上士幌町	59.8	B	57.3	C	52.2	D+	50.5	D	52.8	C	54.5	C
鹿 追 町	57.7	B	50.6	D	52.6	C	44.7	E	52.5	C	51.7	D+
新 得 町	61.3	B	54.5	C	50.9	D	48.4	D-	48.5	D-	52.7	C

清 水 町	51.4	D+	44.6	E	50.2	D	55.2	C	48.2	D-	49.9	D
芽 室 町	55.9	C	55.8	C	53.7	C	63.0	A	45.5	E	54.8	C
中札内村	53.6	C	52.4	D+	52.8	C	56.7	C	54.3	C	54.0	C
更 別 村	52.1	D+	52.9	C	49.5	D	45.9	E	52.7	C	50.6	D
忠 類 村	59.9	B	48.2	D-	45.1	E	45.8	E	48.9	D-	49.6	D

大 樹 町	56.1	C	48.1	D-	50.6	D	54.9	C	53.6	C	52.7	C
広 尾 町	41.7	F	45.4	E	45.2	E	49.3	D	48.4	D-	46.0	E
幕 別 町	44.2	E	48.5	D-	52.3	D+	52.7	C	46.7	E	48.9	D-
池 田 町	56.1	C	47.2	E	49.5	D	47.2	E	43.2	E	48.6	D-
豊 頃 町	52.1	D+	51.7	D+	47.9	D-	41.6	F	47.7	D-	48.2	D-

本 別 町	53.3	C	52.0	D+	49.0	D	55.8	C	49.6	D	51.9	D+
足 寄 町	52.0	D+	50.0	D	54.4	C	48.5	D-	55.2	C	52.0	D+
陸 別 町	50.7	D	52.5	D+	46.4	E	45.7	E	51.5	D+	49.3	D
浦 幌 町	47.7	D-	54.6	C	45.2	E	47.6	D-	45.3	E	48.1	D-

■ 釧路管内

釧 路 町	48.3	D-	46.6	E	55.8	C	63.2	A	47.7	D-	52.3	D+
厚 岸 町	47.0	E	49.6	D	49.6	D	51.3	D+	49.2	D	49.4	D
浜 中 町	37.0	F	42.8	E	46.9	E	51.0	D	36.0	G	42.7	E
標 茶 町	53.6	C	52.9	C	47.2	E	53.6	C	46.2	E	50.7	D
弟子屈町	43.6	E	50.9	D	47.1	E	50.6	D	47.9	D-	48.0	D-

阿 寒 町	54.4	C	52.4	D+	49.8	D	54.4	C	37.3	G	49.7	D
鶴 居 村	59.3	B	68.3	A	47.0	E	49.0	D	58.7	B	56.5	C
白 糠 町	50.1	D	49.0	D-	49.3	D	57.7	B	48.3	D-	50.9	D
音 別 町	50.3	D	56.7	C	53.9	C	64.2	A	49.9	D	55.0	C

■ 根室管内

別 海 町	56.1	C	57.3	C	49.9	D	57.0	C	52.2	D+	54.5	C
中標津町	53.9	C	51.5	D+	52.3	D+	62.4	B	50.3	D	54.1	C
標 津 町	52.6	C	56.0	C	48.5	D-	55.6	C	49.3	D	52.4	D+
羅 臼 町	51.5	D+	41.5	F	49.6	D	51.9	D+	55.8	C	50.1	D

212 ふるさと情報

鹿追町のホームページに、町外からやって来て、同町内で農作業などの実習に入った本年度の産業研修生を紹介するページがアップされています。同様の研修・実習制度を持つ町村はいくつかあるようですが、ホームページ上では手当てや期間など制度説明だけが掲載されるケースがほとんどで、どんな人たちが、どんな思いで、具体的にどんな生活をしているのかまでは、なかなか知ることができませんでした。



脱・お知らせ広報

鹿追町のサイトでは、研修生4人に直接インタビューした紹介ページと、研修先での仕事ぶりを取材した「研修生の1日(春編)」を掲載、写真も交え、研修生の人柄や生活ぶりを伝えています。募集要項だけではイメージしにくいこうした制度の実際が、とても良く分かります。

似たような例のひとつに、忠類村ホームページのインタビュー企画「U・Iターン者にお聞きします」があります(最近、更新されていないようで、ちょっと残念ですが・・・)。同企画は、同村にUターンあるいは移住した人を取り、その動機、住んでみての感想などを生の声で語ってもらっており、定住促進の優遇制度を列記するのは一味違った「村の魅力」の紹介になっています。

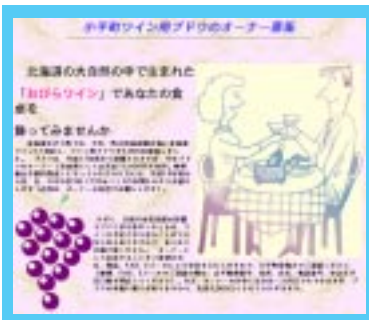
自治体ページは、役所的な硬い「お知らせ」が多くなりがちですが、こうした当事者や、実際の現場をきちんと取材した記事の提供は、広報の大きな役割のひとつだと思います。

鹿追町の「研修生の1日」は今後、続編も予定されているようです。若い研修生たちが、これからどうなっていくのか、楽しみです。

(2001/06/21 典)

■6/21 留寿都村 るすつ広場 新コーナー「るすつ広場」が開設されています。村の出来事などを写真で紹介するページのようで、村民に対し、身近な出来事の写真を募集しています。

■6/20 小平町 ワイン用ブドウのオーナー募集 「ワイン用ブドウのオーナー募集」情報が掲載されています。町の特産試験ほ場に今年、植栽したワイン用ブドウのオーナー(出資金10,000円)になると、平成18年度から赤、白、ロゼの計3本(720ml)を5年間にわたり届けてくれるそうです。



■6/20 滝川市 総合計画を解説 本年度か

らスタートの市総合計画の解説ページがアップされています。同計画の概要版、全文のほか、第1次まちづくり実施計画(平成13年度~15年度)も掲載されています。

■6/19 大樹町 例規集 HTML版「大樹町例規集」がアップされています。体系目次、50音順目次のほか、詳しい「ヘルプ」のページもあります。町村ホームページでの例規集公開は、まだあまり例がないような気がします。

■6/19 更別村 広報で「合併シリーズ」スタート 広報「さらべつ」6月号(PDFファイル)がアップされ、今号から特集で「市町村合併シリーズ」がスタートしています。第1回目は、市町村数の推移や、合併論議が起こっている背景、道が示した合併パターンなどを解説しています。

NEWS



● 6/20 水沢市
(岩手県) 子ども向け「社会科副読本」
ホームページ開設

水沢市教委は、子供たちの情報化教育と地域学習の機会を

広げるため、「社会科副読本 - 地域の教材」をテーマにした児童・生徒向けのホームページを開設した。市内 11 の全小中学校が参加している先進的教育用ネットワークモデル地域事業の一つで、社会科副読本や水沢風土記などの資料を基に、歴史や産業、地域の発展に功績のあった人物などを紹介している。

● 6/20 川崎市(神奈川県) 墓地のスラム化防止で条例制定へ

川崎市は、墓地に使用期限を設けて、期限後は共同供養塔や納骨堂で供養する新たな墓地利用方法を盛り込んだ条例案を 9 月の市議会に提案する。少子化や墓に対する意識の変化で、墓の維持継承が難しくなり、荒廃が進む傾向にあることや、墓地開発の適正化が背景にある。条例化により、土地の有効活用も図られるという。

● 6/18 神戸市(兵庫県) 地域住民が市と「まちづくり協定」

神戸市灘区の「大石南町まちづくり協議会」(264 世帯) は、地域の環境や景観に配慮した「まちづくり構想」を策定するとともに、市との間で「まちづくり協定」を結んだ。約 11 ヘクタールを対象に、生け垣や酒蔵風の塀を通りに面して活用したり、景観を害する広告看板の制限などを盛り込み、酒造りの町の歴史と景観を生かすことを柱としている。

● 6/18 三好町(徳島県) 吉野川的环境保全で 8 町村の住民が連携

吉野川流域の三好郡 8 町村の住民団体などは、連合組織「上流域ブロック会・みよし三郎

会」を設立、住民主導で吉野川的环境保全活動を広域的に展開することになった。河川敷の清掃奉仕や吉野川に対する理解を深めるためのイベント、学習会を開くほか、中・下流域の住民にも参加を呼び掛けながら川を生かした地域づくりについて研究し行政に提言していく方針。

● 6/14 名張市(三重県) 水道料金格差最大 4 倍、合併の障害を懸念

名張市の富永英輔市長は、伊賀 6 市町村の合併協議をめぐる市議会答弁で、「最大で 4 倍以上の格差がある水道料金の平準化は難しい」として、水道料金が今後の合併論議のネックになるとの見方を示した。合併特例法では市町村ごとに異なる公共料金の平準化に財政支援があるが、市長はそれでもなお調整を困難視した。

● 6/14 沖縄市(沖縄県) 暴走族規制条例制定へ

沖縄市は、2001 年 4 月施行を目指して罰則規定を設けた暴走族規制条例の制定作業を進めている。条例の実効性を上げるため、暴走族の被害に悩む自治会や商店街などの要望・意見を反映させる方針。暴走行為をある行為も禁止した姫路市の条例も参考にする。

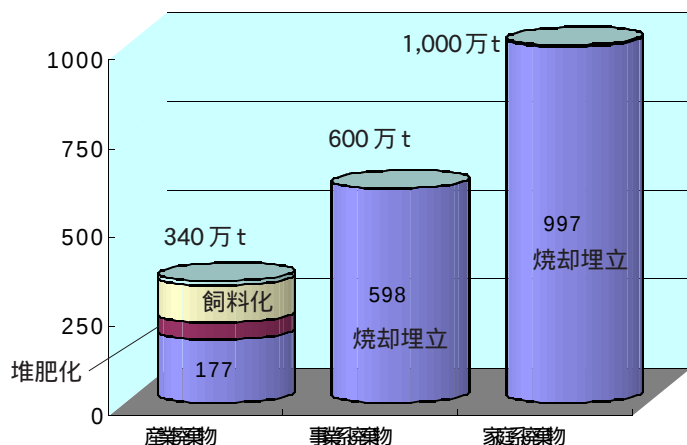
● 6/12 米原町(滋賀県) 合併の是非問う住民投票条例案提出へ

米原町の村西俊雄町長は、定例町議会で合併について住民の意思を問う住民投票実施の条例案を 9 月議会に提出する考えを明らかにした。議会で可決承認されれば、直ちに住民投票が実施される見込み。長浜市など湖北地域や彦根市など湖東地域との合併パターンが挙げられているが、これらの組み合わせについても、住民投票により民意を反映させるという。

(詳細情報は事務局にお問い合わせ下さい)

DATA 食べかすリサイクル0.3%

日本国内で1年間に発生する食品廃棄物は約1940万トン、その半数の約1千万トンが家庭から出される「食べかす・食べ残し」。加工段階で出る産業廃棄物の場合は約48%が堆肥や飼料などにリサイクルされているが、家庭や飲食店などから出る物の99.7%は焼却埋め立て処分され、再資源化が遅れている。(農水省食品廃棄物リサイクル研究会資料から)

**BOOK**

おすすめ 入門向け

【超民営化論関連図書】

総検証「特殊法人」の真実 行政改革の俎上にのせられながらしぶとく生き延びる特殊法人とは何なのか、その全容を探り、主要法人の事業内容と財務内容を検証。佐高信、講談社刊。1800円、2000年4月発行。

●「郵政民営化」小泉原案 水野清ほか著、小学館刊。476円、2001年7月発行。

●政治のニュースが面白いほどわかる本～政治が身近になった！日本 田中康夫ら「無党派知事」の人気の秘密とは？特殊法人って？素朴な疑問に答える。滝沢中著・上条未夫、中経出版刊。1400円、2001年6月発行。

●ここまで来た！郵政民営化生激論 宝島社刊。1200円、2001年6月発行。

●小泉純一郎革命 変人宰相は日本をどう変えるのか 緒方邦彦著、イースト・プレス刊。1400円 2001年5月発行。

●郵便局民営化計画 原田淳著、東洋経済新報社刊。1600円、2001年5月発行。

●公益法人～隠された官の聖域 北沢栄著、岩波書店刊。700円、2001年4月発行。

●国立大学民営化で300の私大が潰れる～迫りくる国立大学独法化 国立大学独法化の弊害と危険性を警告。中村忠一著、エール出版社刊。1700円、2001年1月発行。

●電力会社を九つに割った男～民営化の鬼、松永安左衛門 浅川博忠著、講談社刊。667円、2000年12月発行。

●国家民営化論～ラディカルな自由社会を構想する 笠井潔著、光文社刊。571円、2000年12月発行。

●社会保障は民営化すべきか ヘンリー・アーロン、ジョン・シアバーン著、石塚秀雄訳、同時代社刊。3000円、2000年12月発行。

●特殊法人は国を潰す気か 千葉仁志著、小学館刊。476円、2000年10月発行。

●日本のここが危ない～財投、特殊法人、天下りがつくる借金 mountain 文人正編著、実践社刊。1000円、2000年10月発行。

●国家という迷信～超民営化のすすめ 徹底的な市場化のみが日本を変えていとの視点から発想の転換を迫る。竹内靖雄著、日本経済新聞社刊。1600円、2000年3月発行。

●郵政民営化論～日本再生の大改革！ 小泉純一郎・松沢しげふみ編、PHP研究所刊。1550円、99年12月発行。

日本国の研究 猪瀬直樹著、文芸春秋刊。448円、99年3月発行。



com212.com

A compass for
community &
communication**INFORMATION**

本誌の継続配信とバックナンバーをご希望の場合は、下記にお問い合わせ下さい。(配信は無料です)

事務局：電話 011 (761) 6039

E-mail : webmaster@com212.com

NeXT
press 212